

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 12 日 (2015.3.12)

【公表番号】特表 2014-511083 (P2014-511083A)

【公表日】平成 26 年 5 月 1 日 (2014.5.1)

【年通号数】公開・登録公報 2014-022

【出願番号】特願 2014-502795 (P2014-502795)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

H 0 4 W 88/06 (2009.01)

H 0 4 W 84/14 (2009.01)

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 72/12 1 5 0

H 0 4 W 88/06

H 0 4 W 84/14

H 0 4 W 16/14

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 20 日 (2015.1.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装置による無線通信の方法であって、

エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第 1 のラジオ・アクセス技術 (R A T) でアクティブに通信することと、

前記エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第 2 の R A T でアクティブに通信することと、

遠隔デバイスに対して、送信を一時的に停止するように指示するメッセージを、前記第 2 の R A T で送信することと、前記メッセージは、前記遠隔デバイスからの送信が、前記エンド・トゥ・エンド通信リンクで、前記第 1 の R A T のアップリンク送信中に受信されることを阻止するように計算された時間において送信される、

前記メッセージは、前記装置が、前記第 2 の R A T で前記遠隔デバイスからの通信を受信することができない場合、前記遠隔デバイスに示すための C T S - t o - S e l f メッセージを備え、前記 C T S - t o - S e l f メッセージが送信される時間は、前記第 1 の R A T のアップリンク送信のガード時間前である、を備える方法。

【請求項 2】

前記送信することは、前記第 1 の R A T のアップリンク送信と前記第 2 の R A T のダウンリンク通信との間の潜在的な干渉を示すインジケーションに少なくとも部分的に基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 の R A T におけるアクティブな通信と前記第 2 の R A T におけるアクティブな通信とは、アクセス・ポイント (A P) モードにおいて動作するユーザ機器による、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

無線通信のための装置であって、

エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第 1 のラジオ・アクセス技術 (R A T) でアクティブに通信する手段と、

前記エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第 2 の R A T でアクティブに通信する手段と、

遠隔デバイスに対して、送信を一時的に停止するように指示するメッセージを、前記第 2 の R A T で送信する手段と、前記メッセージは、前記遠隔デバイスからの送信が、前記エンド・トゥ・エンド通信リンクで、前記第 1 の R A T のアップリンク送信中に受信されることを阻止するように計算された時間において送信される、

前記メッセージは、前記装置が、前記第 2 の R A T で前記遠隔デバイスからの通信を受信することができない場合、前記遠隔デバイスに示すための C T S - t o - S e l f メッセージを備え、前記 C T S - t o - S e l f メッセージが送信される時間は、前記第 1 の R A T のアップリンク送信のガード時間前である、

を備える装置。

【請求項 5】

前記送信する手段は、前記第 1 の R A T のアップリンク送信と前記第 2 の R A T のダウンリンク通信との間の潜在的な干渉を示すインジケーションに少なくとも部分的に基づく、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記第 1 の R A T におけるアクティブな通信と前記第 2 の R A T におけるアクティブな通信とは、アクセス・ポイント (A P) モードにおいて動作するユーザ機器による、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 7】

無線通信のための装置のために構成された、格納されたプログラム・コードを有するコンピュータ読取可能な記憶媒体であって、前記プログラム・コードは、

エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第 1 のラジオ・アクセス技術 (R A T) でアクティブに通信するためのプログラム・コードと、

前記エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第 2 の R A T でアクティブに通信するためのプログラム・コードと、

遠隔デバイスに対して、送信を一時的に停止するように指示するメッセージを、前記第 2 の R A T で送信するためのプログラム・コードと、前記メッセージは、前記遠隔デバイスからの送信が、前記エンド・トゥ・エンド通信リンクで、前記第 1 の R A T のアップリンク送信中に受信されることを阻止するように計算された時間において送信される、

前記メッセージは、前記装置が、前記第 2 の R A T で前記遠隔デバイスからの通信を受信することができない場合、前記遠隔デバイスに示すための C T S - t o - S e l f メッセージを備え、前記 C T S - t o - S e l f メッセージが送信される時間は、前記第 1 の R A T のアップリンク送信のガード時間前である、

を備える、コンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項 8】

前記送信するためのプログラム・コードは、前記第 1 の R A T のアップリンク送信と前記第 2 の R A T のダウンリンク通信との間の潜在的な干渉を示すインジケーションに少なくとも部分的に基づく、請求項 7 に記載のコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項 9】

前記第 1 の R A T におけるアクティブな通信と前記第 2 の R A T におけるアクティブな通信とは、アクセス・ポイント (A P) モードにおいて動作するユーザ機器による、請求項 7 に記載のコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項 10】

無線通信のための装置であって、

メモリと、

前記メモリに接続された少なくとも 1 つのプロセッサとを備え、

前記少なくとも１つのプロセッサは、

エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第１のラジオ・アクセス技術（ＲＡＴ）でアクティブに通信し、

前記エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第２のＲＡＴでアクティブに通信し、

遠隔デバイスに対して、送信を一時的に停止するように指示するメッセージを、前記第２のＲＡＴで送信し、前記メッセージは、前記遠隔デバイスからの送信が、前記エンド・トゥ・エンド通信リンクで、前記第１のＲＡＴのアップリンク送信中に受信されることを阻止するように計算された時間において送信される、

前記メッセージは、前記装置が、前記第２のＲＡＴで前記遠隔デバイスからの通信を受信することができない場合、前記遠隔デバイスに示すためのＣＴＳ - t o - S e l fメッセージを備え、前記ＣＴＳ - t o - S e l fメッセージが送信される時間は、前記第１のＲＡＴのアップリンク送信のガード時間前である、

ように構成された、装置。

【請求項１１】

前記送信することは、前記第１のＲＡＴのアップリンク送信と前記第２のＲＡＴのダウンリンク通信との間の潜在的な干渉を示すインジケーションに少なくとも部分的に基づく、請求項１０に記載の装置。

【請求項１２】

前記第１のＲＡＴにおけるアクティブな通信と前記第２のＲＡＴにおけるアクティブな通信とは、アクセス・ポイント（ＡＰ）モードにおいて動作するユーザ機器による、請求項１０に記載の装置。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００７４

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００７４】

ＬＴＥ送信通信とのオーバーラップを回避するようにＷＬＡＮ受信通信を揃える（align）ために、ＣＴＳ - t o - S e l fと呼ばれるＩＥＥＥ ８０２．１１機能が使用される。ＣＴＳ（c l e a r - t o - s e n d） - t o - S e l f信号は、アクセス・ポイントが遠隔局からの通信を受信できない場合を遠隔局へ示す。ＵＥは、ＷＬＡＮ受信のタイミングを制御するために、ＣＴＳ - t o - S e l fメッセージを計時しうるので、ＬＴＥ送信通信とオーバーラップしない。すなわち、ＣＴＳ - t o - S e l fメッセージは、ＷＬＡＮ受信を揃えうるので、ＬＴＥアップリンク期間のために割り当てられた時間スロットとオーバーラップしない。ＣＴＳ - t o - S e l fメッセージは、図１２に示されるように、ＬＴＥアップリンク通信のガード時間前に、送信のためにレディになりうる。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００７５

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００７５】

図１２は、本開示の１つの態様にしたがって無線通信を揃えることを示している。ＬＴＥアップリンク通信の期間は、時間１２０２中に示されている。ＣＴＳ - t o - S e l fメッセージは、ＬＴＥアップリンク通信が開始するように設定されている時の、あるガード時間Ｔ_g前である時間１２０４において、レディになりうる。ＣＴＳ - t o - S e l fメッセージは、ＬＴＥアップリンク通信が開始されるように設定された時の、時間Ｔ_s前に送信される。ＣＴＳ - t o - S e l fメッセージが終了すると、ＷＬＡＮラジオが通信チャンネルを再び開くまで、ＷＬＡＮチャンネルは、ある期間、利用不可能となる。このよう

にして、WLAN受信通信は、LTE送信からの潜在的な干渉から保護されうる。ガード時間 T_g 、 T_s は、このメッセージが、LTEタイミングの観点から、適切な通信を可能とする十分なマージンを持って受信されることを保証する。